

## 会報「宮崎へき地・小規模校教育」 学校紹介【小学校】

高千穂町立田原小学校 校長 岩瀬 智子

「旅人に心やさしく、ふれあいと人の和をひろげましょう。」これは、高千穂町町民憲章の一節であり、「神話と伝説の町」高千穂町ならではのメッセージが込められている。また、高千穂町では、教育基本方針にある「心身ともに健やかで創造力と実行力に富んだ調和のとれた人づくり」を推進するため、町内の小学校5校・中学校3校においてそれぞれ特色のある教育活動が展開されている。

さて、本校は、明治8年に河内尋常小学校として創立され、昭和22年に学制改革により田原小学校と改称された。創立以来、本年度で144年目を迎える。昭和51年3月には、創立100周年記念式典が開催された。歴史と伝統のある学校で、児童数は多いときは700名程であったが、現在は40名という小規模の学校である。

「南に五ヶ瀬 北に祖母」から始まる校歌にあるように、校区が大分県と熊本県に接した県境の地で、冬季は雪が積もるほどの寒さであるが、自然の豊かさは言葉では表現できないほどに素晴らしい。また、地区ごとに受け継がれている神楽があり、「神話と伝説の町」高千穂町ならではの伝統がしっかりと根付いている。

本校の教育目標は「知・徳・体のバランスのとれた田原っ子の育成」であり、重点目標を5点定めて「田原小学校ならではの教育」を推進している。1点目は「確かな学力の定着」であり、「わかる」「できる」授業を通じた基礎・基本の定着及び活用する力の育成、ICT等を活用した複式指導や教科指導等の充実などに取り組んでいる。2点目は「豊かな心の育成」であり、挨拶運動やメディアコントロール等の推進、ふるさとの自然や文化等を大切にする心の醸成などに取り組んでいる。3点目は「健やかな体の育成」であり、教科体育や日常の運動指導の充実及び体力向上の推進、家庭と連携した望ましい生活リズムの確立などに取り組んでいる。4点目は「学校・家庭・地域との連携」であり、家庭と連携した家庭学習習慣の確立、地域人材・素材等の積極的な活用の推進などに取り組んでいる。5点目は「教職員の資質の向上」であり、自主研究や自己研鑽等による個々の指導力の向上、「チーム田原」としての組織力及び学校力の向上などに取り組んでいる。

ところで、本校には教育目標を推進するための合言葉がある。「ひとみキラキラ・こころワクワク・からだグングン」という言葉である。全校児童40名は、ひとみをキラキラ輝かせながら学び、こころをワクワクときめかせながら皆と接し、からだをグングン伸ばしながら元気に活動し、素直にたくましく成長している。一人一人の児童の日々の変化は著しく、驚きと感動の連続であり、校長としての喜びを噛みしめているところである。

田原の子供たちの未来を見据えた「生きる力」の育成を目指し、保護者や地域の方々の願いをしっかりと受け止め、全職員で一致団結し、全力で取り組んでいるところである。